

1 輸送ネットワークの拡充

1-(1) 新線の開業と相互直通運転

新線の開業

2019年11月に相鉄新横浜線(西谷～羽沢横浜国大)が開業しました。2023年3月には相鉄新横浜線(羽沢横浜国大～新横浜)・東急新横浜線(日吉～新横浜)が開業しました。

相互直通運転

相互直通運転は、他の鉄道会社路線への乗り換え等の不便解消を図るほか、所要時間の短縮、ターミナルの混雑緩和などに大きな効果を発揮しています。

2019年11月に、相鉄新横浜線の開業により、相鉄線とJR線の相互直通運転が開始されました。

2020年6月には、東武線と東京メトロ日比谷線相互直通の座席指定制列車「THライナー」が導入されました。

2023年3月には相鉄新横浜線・東急新横浜線の開業により、7社局14路線を結ぶ広大なネットワークが形成されました。

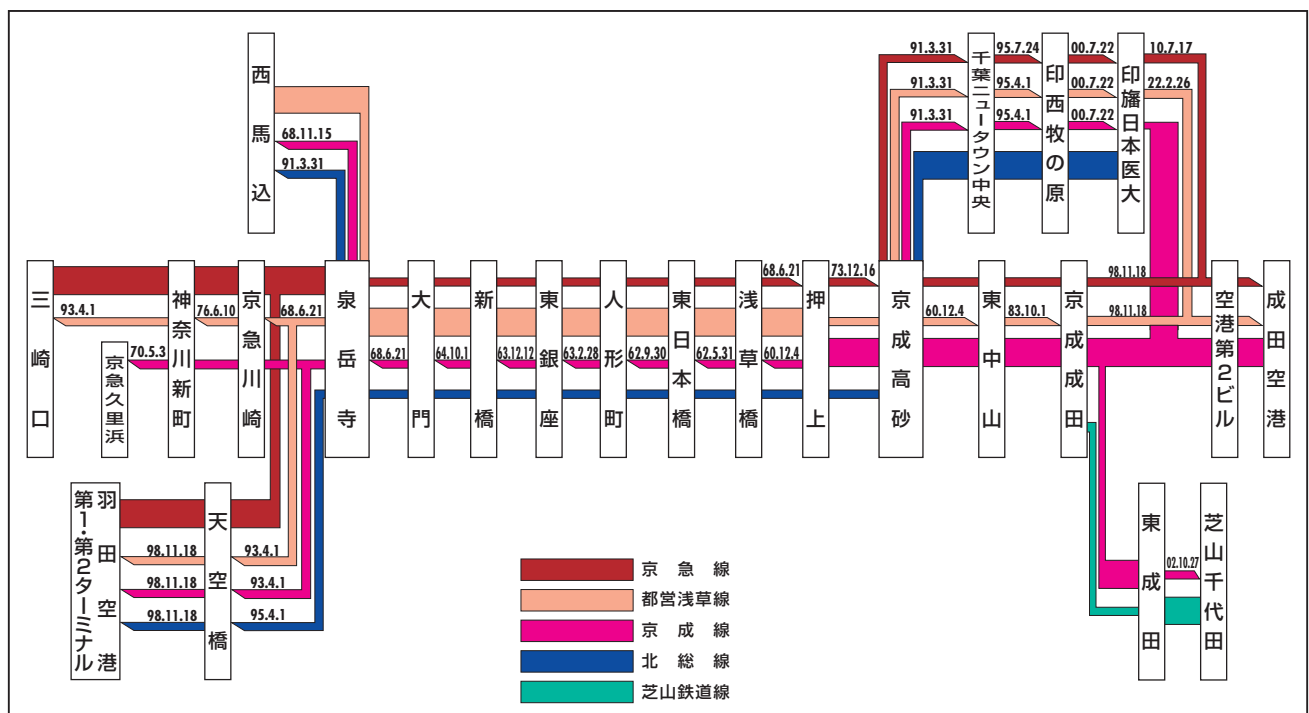
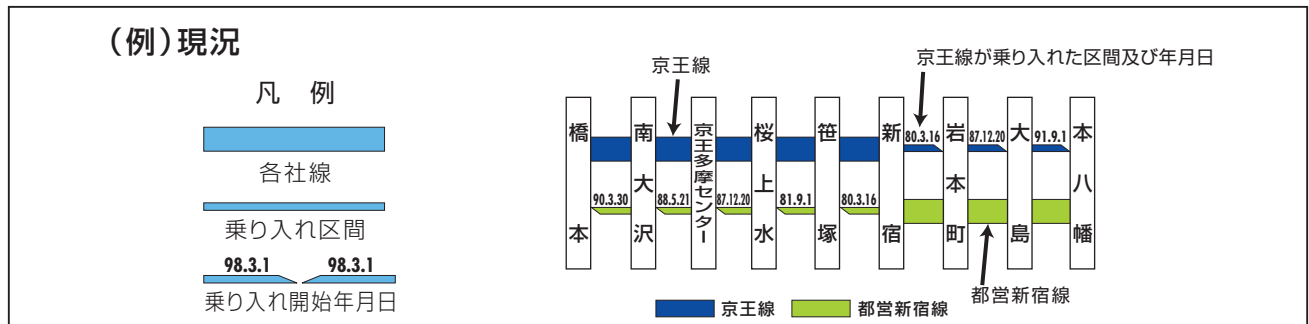


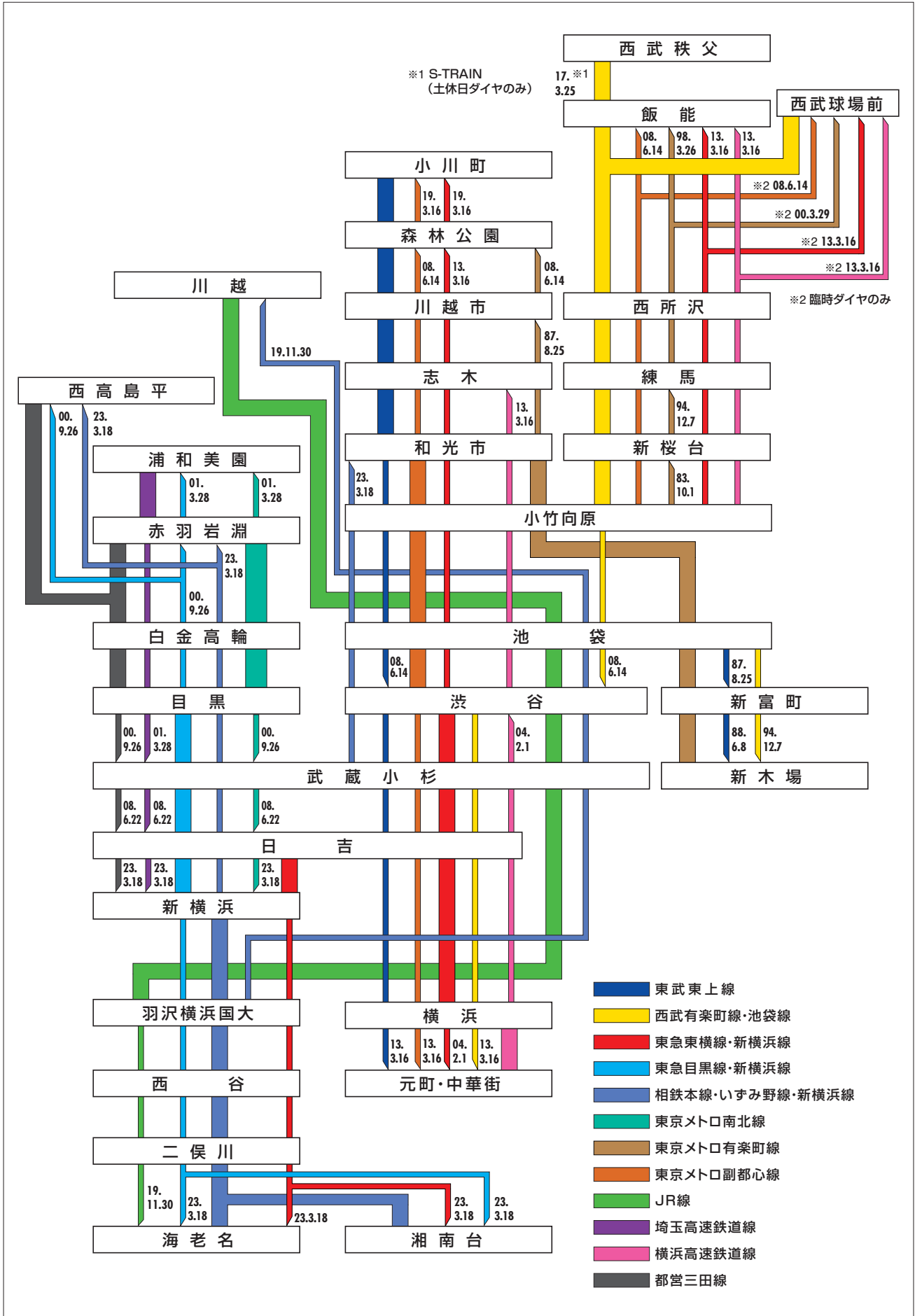
THライナー

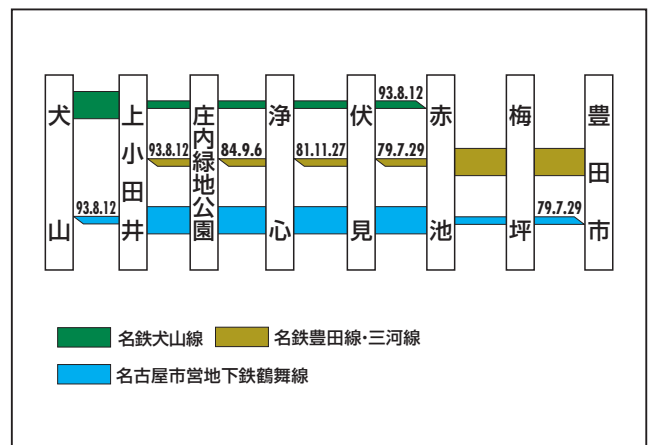
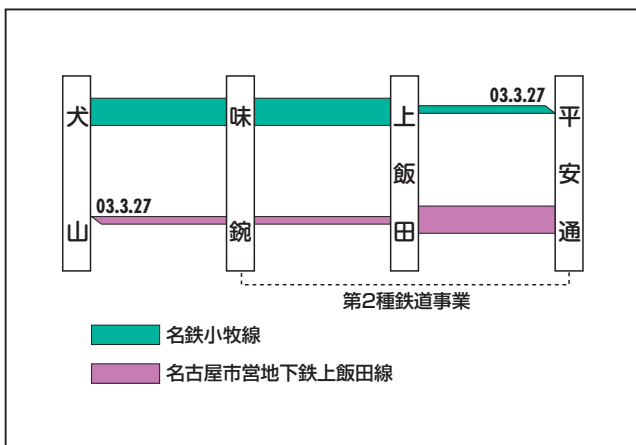
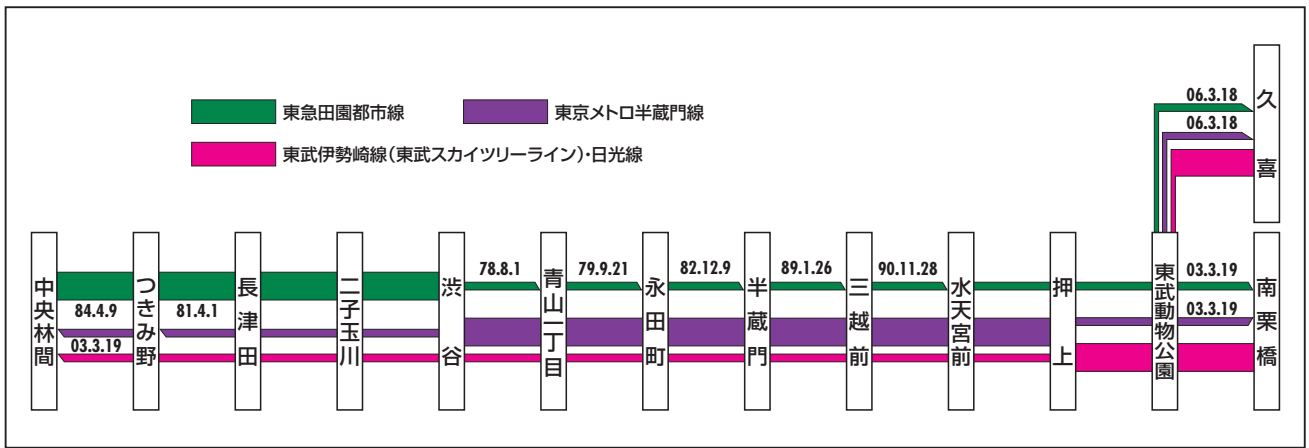
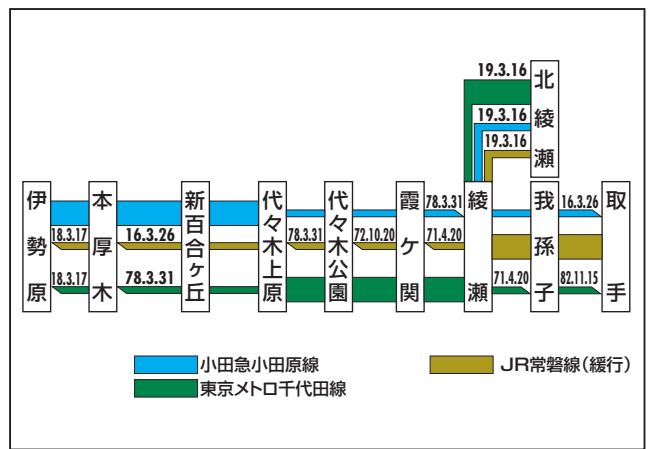
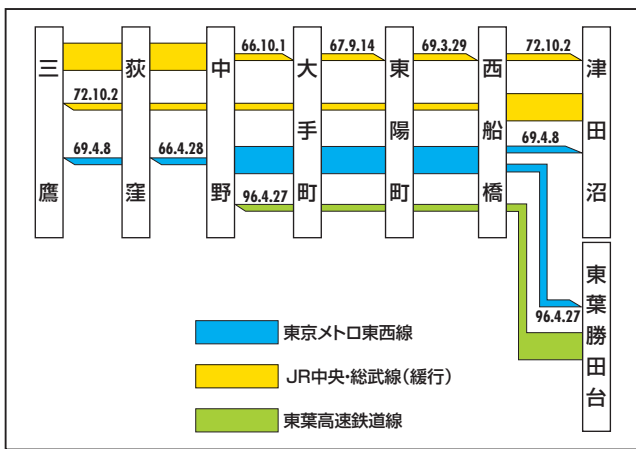
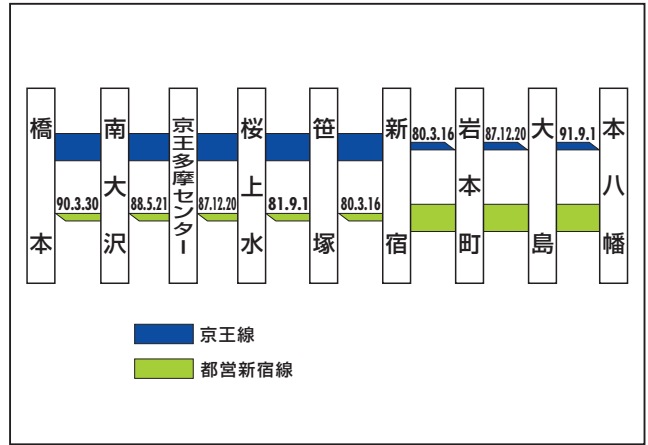
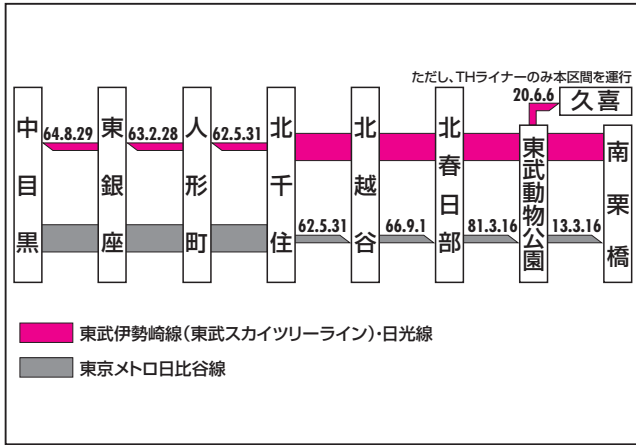


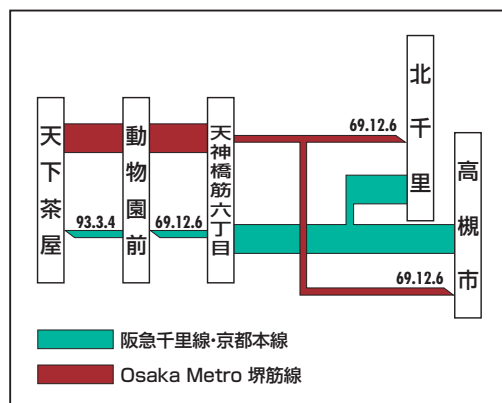
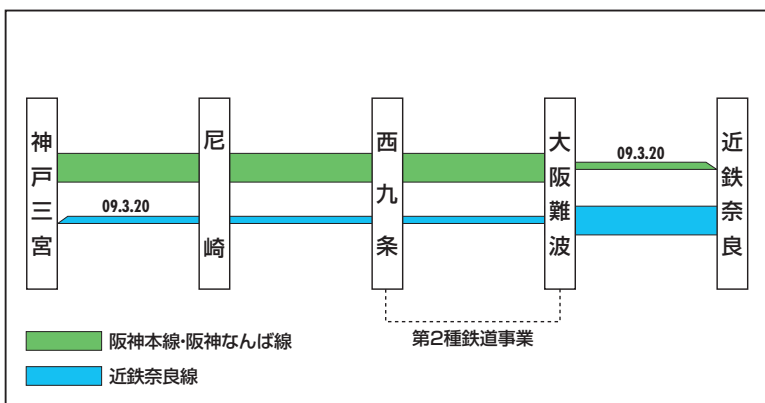
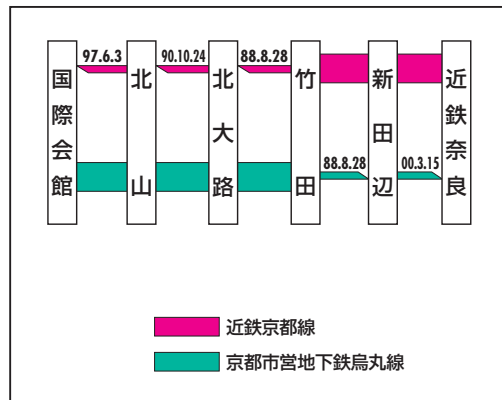
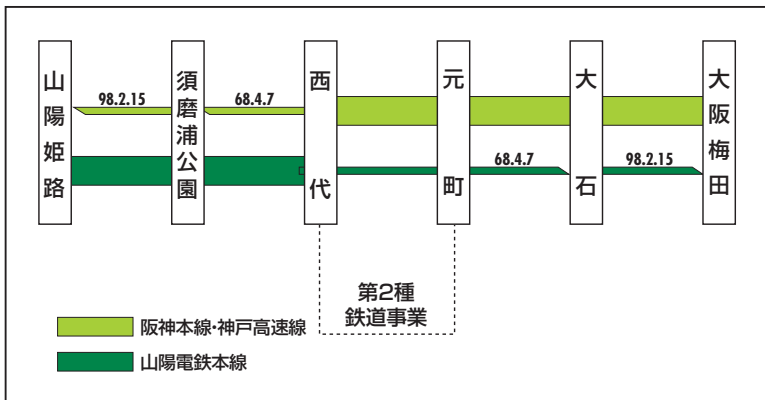
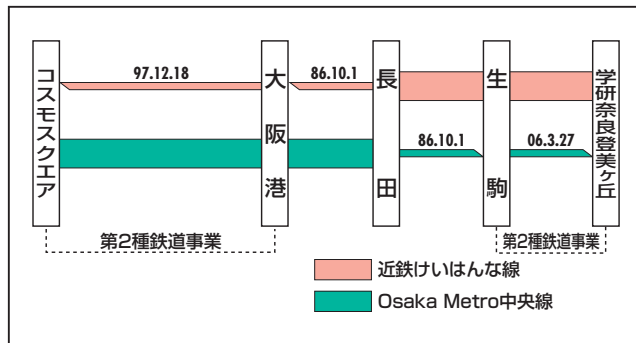
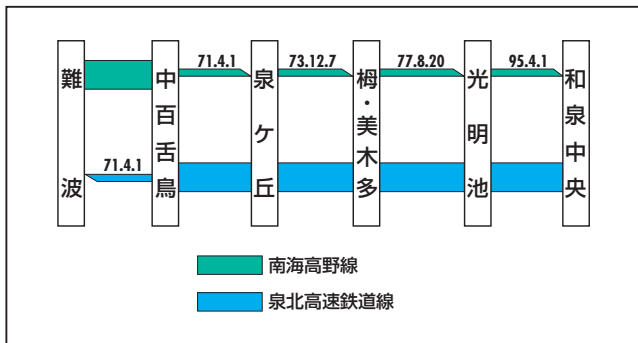
相鉄21000系

1-(2) 相互直通運転の現況 (2023年10月1日現在)









1-(3) 他交通機関との結節点の新設

各社では他交通機関との連携を図り、ネットワークを拡充する取り組みも見られます。

羽田空港が再拡張し本格的に国際化したことに対応し、2010年10月に国際線ターミナルビルに直結する京急空港線・羽田空港国際線ターミナル駅(現在は、羽田空港第3ターミナル駅)が開業しました。

また、京都縦貫自動車道・長岡京IC付近において、2013年12月に阪急京都本線・西山天王山駅が開業しました。同駅開業によって周辺地域の利便性向上のほか、高速バスストップで京都縦貫自動車道、名神高速道路などを走行する高速バスとの乗り継ぎや、併設したパーク&ライド駐車場を活用したマイカーから公共交通への乗り継ぎが容易になりました。



羽田空港第3ターミナル駅



西山天王山駅